

おめでとう、ラグビー部！ 2年ぶり3回目の花園出場決定

11月6日(日)、第102回全国高校ラグビー大会大分県予選の決勝が行われ、本校ラグビー部が35対17で大分舞鶴を下し4連覇を達成。花園出場を決めた。

前半開始3分に、カイサ ワガ ダウナカマカマくん(国際3年)が突破したのち浦川直樹くん(普通3年)がトライし、7-0で先制。これで勢いづいた東明勢は、舞鶴に同点に追いつかれても慌てることなく、終始落ち着いたプレーに徹した。後半開始2分、内藤純聖くん(準特3年)からのパスをエロニ ナウア ナブラギくん(国際3年)がトライ。17分にエロニくんからのパスを小西琉世くん(準特3年)がトライを決め、27分には梶原健汰くん(普通2年)が独走状態でゴールポスト裏にトライ、と、着実に勝利へ向かって突き進んだ結果、35-17で試合終了。

キャプテンの浦山丈くん(準特3年)は、「今回の反省である、反則を無くすという課題を修正し、ベスト4入りを目指します。」と意気込みを語ってくれた。

全国大会は、12月27日に大阪府東大阪市の花園ラグビー場で開幕する。

